

今回ご紹介するのは、池田町出身で、バイリンガル司会者や通訳者を中心に全国規模で活躍されている野口美穂さん。フランスのカンヌ国際映画祭やユネスコESD世界会議、有名企業のレセプションなど、池田町に住みながらグローバルな仕事に携わる魅力などを伺いました。



この仕事を始めたきっかけは？

短大卒業後、語学を使った仕事をしたいと通訳の勉強を始めたのですが、そもそも日本語の表現力が足りないことを痛感し、話し方教室に通いました。後に名古屋のFM局で日本語と英語のニュースアナウンサーやDJを経験したり、国際結婚をする友人の披露宴の司会を頼まれたりするうちに、本格的にこの仕事を始めるようになりました。



国際会議ではレセプションも大切なおもてなしのひとつ

主な活動内容は？

国際結婚の披露宴や、国際会議、法人イベントなどで、日本語、英語あるいは仏語を交えた司会進行と通訳をしています。司会の依頼は首都圏からが多いのですが、外国人観光客の増加や、今年の伊勢志摩サミットの開催に伴い、地方でも海外からのお客様を迎える機会が増えると思込んでいます。



カンヌ国際映画祭のレセプションパーティーより

池田町の国際化に向けて何が必要ですか？

私は外国人観光客に国内を案内する通訳案内士の仕事もしていますが、インバウンド観光(訪日外国人旅行)が急速に成長する中、外国人観光客に対して、町の魅力を発信しない手はないと考えます。池田町には温泉や池田山の桜、パラグライダー、茶畑、お隣の揖斐川町のマラソン大会など、地方ならではの観光資源がたくさんあります。池田山の山麓道路を外国人観光客がサイクリングする姿などを想像するだけで楽しくなります。



国際結婚の披露宴の様子より

今後の目標は？

生まれ故郷の池田町をベースに、これからも日本と海外をつなぐお手伝いをしていきたいです。



法人イベントでは英語や仏語の通訳を兼ねた司会進行を務める

編集後記

新しい年を迎え、町民の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年の干支は申年であります。申年は変革の年ともいわれ、当町におきましても今後5年間の人ロビジョン、地方創生総合戦略が策定されました。この総合戦略に基づき今後のまちづくりが、進められていきます。

議会も一丸となり町民の皆様と共に魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

議会広報編集委員

渡辺 幸一

